

一般社団法人 全日本建設技術協会

会長 大石 久 和

印省略

第649回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるためのi-Constructionの取り組み、AIやロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることであります。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第649回建設技術講習会では、災害時における体制の充実強化（被災情報の集約・共有やTEC-FORCEの活動等）、自然災害（水害・地震・津波・高潮・土砂災害・火山噴火等）に対するハード・ソフト一体となった防災・減災対策の取り組み（各地で取り組んでいる自然災害対策の具体の取り組み事例）、平成28年熊本地震や平成29年九州北部豪雨における被害と復旧・復興への取り組み、災害時におけるICTの活用による初動対応の効率化（被害の情報収集、復旧作業など）などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和

印省略

第649回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、平成30年11月28日(水)～30日(金)、熊本市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、災害時における体制の充実強化について（被災情報の集約・共有やTEC-FORCEの活動等）、自然災害（水害・地震・津波・高潮・土砂災害・火山噴火等）に対するハード・ソフト一体となった防災・減災対策の取り組みについて（各地で取り組んでいる自然災害対策の具体的な取り組み事例）、平成28年熊本地震や平成29年九州北部豪雨における被害と復旧・復興への取り組み、災害時におけるICTの活用による初動対応の効率化（被害の情報収集、復旧作業など）などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は熊本県・熊本市(予定)の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴 講 料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
熊本県内の国・県・政令市に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
熊本県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
九州地区連合会管内の市町村に勤務*	18,400円	2,000円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

*地区連合会管内の市町村は、政令市を除く

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。

※割引価格(2,000円)で参加の場合、取り消しはできません。

③現場研修料：7,200円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「649」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申 込 締 切 日：平成30年11月9日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成30年11月16日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成30年11月22日(木)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS(予定)」の認定講習会です。
【聴講/現場】全建：8.5単位/2.5単位、CPDS：(未定)

第649回建設技術講習会(災害に強い安全な国土づくり)日程 ～激甚化する気象災害、切迫する巨大地震への対応について最新の施策及び取り組み事例を学ぶ～

- ・災害時における体制の充実強化について(被災情報の集約・共有やTEC-FORCEの活動等)
- ・自然災害(水害・地震・津波・高潮・土砂災害・火山噴火等)に対するハード・ソフト一体となった防災・減災対策の取り組みについて(各地で取り組んでいる自然災害対策の具体的な取り組み事例)
- ・平成28年熊本地震や平成29年九州北部豪雨における被害と復旧・復興への取り組み
- ・災害時におけるICTの活用による初動対応の効率化(被害の情報収集、復旧作業など)

会場 …… くまもと森都心プラザ(5階プラザホール)
〒860-0047 熊本市西区春日1-14-1 TEL096-355-7400(代)

(1日目) 開場11:40	平成30年11月28日(水)	(敬称略)
12:40 } あいさつ 13:00	熊本県知事 熊本市長 (一社)全日本建設技術協会 会長	蒲島郁夫 大西一史 大石久和
13:00 } インフラの整備と経済成長 14:30 ~全建会員がもつべき知識~	(一社)全日本建設技術協会 会長	大石久和
14:40 } 激甚化する災害への備えについて 15:40	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官	林 雄一郎
15:50 } 【地元自治体の取り組み】 16:50 熊本地震における対応について	熊本県土木部河川港湾局河川課 審議員	谷水秀行
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞ (17:30~19:00(予定))		ザ・ニューホテル熊本 3階「鳳凰の間」 TEL096-326-1111
(2日目) 開場 9:00	11月29日(木)	(敬称略)
9:40 } 南海トラフ巨大地震・首都直下地震対策について 10:40 ~国土交通省における取組状況~	国土交通省水管理・国土保全局防災課 大規模地震対策推進室 室長	原田昌直
10:50 } 最近の治水事業の取り組みについて 11:50	国土交通省水管理・国土保全局治水課 流域減災推進室 室長	矢崎剛吉
13:00 } 【地域事業の紹介①】 13:20 熊本城復旧状況について	熊本市熊本城総合事務所 副所長	野本達雄
13:20 } 【地域事業の紹介②】 13:40 平成24年7月熊本広域大水害からの復旧・復興について ~白川・黒川河川激甚災害対策特別緊急事業~	熊本県土木部河川港湾局河川課 審議員	仲田裕一郎
13:40 } 【地域事業の紹介③】 14:00 阿蘇大橋架替工事・阿蘇大橋地区斜面防災対策工事 について	国土交通省九州地方整備局熊本復興事務所 所長	辻 芳樹
14:10 } 大規模自然災害に備えた災害対応体制の充実強化 15:10 ~TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の取組~	国土交通省水管理・国土保全局防災課 防災企画官	波多野真樹
15:20 } 土砂災害対策における最新の取り組みと課題(16:20	国土交通省水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課地震・火山砂防室 室長	城ヶ崎正人
16:20 } 閉会のあいさつ	熊本県建設技術協会 会長 (熊本県土木部 部長)	宮部静夫
(3日目) 集合 8:30~	11月30日(金) 【現場研修】	

桜の馬場 城彩苑バス乗降場(8:30)出発

- 熊本城復旧事業(下車説明) → 平成24年7月九州北部豪雨 白川河川激甚災害対策特別緊急事業(下車説明)
- 昼食(熊本市内) → 阿蘇大橋架替工事・阿蘇大橋地区斜面防災対策工事(下車説明)
- 熊本空港(15:25) / 熊本駅(16:25) 着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD(継続教育)制度・CPDS認定プログラム(予定) 【聴講/現場】全建:8.5単位/2.5単位、CPDS:(未定)

1. 熊本地震に伴う熊本城の修復事業（仮称）

…………… 熊本市中央区

平成28年4月14日に発災した平成28年熊本地震により、熊本城は過去類を見ない甚大な被害を受けました。

その被害は、倒壊・崩落一部損等を含め重要文化財建造物13棟及び再建・復元建造物20棟の全てが被災し、石垣は全体の約3割に当たる約23,600㎡に崩落や膨らみ・緩など膨らみ・緩など修復を要する箇所が見受けられるほか、便益施設等26棟も屋根や壁が破損し、地盤についても約12,345㎡に陥没や地割れが発生するなど熊本城全域に及びます。

この甚大な被害を受けた熊本城復旧には長い歳月と多経費を要するが見込まれ、現在把握している被害だけでも、その被害額は、概算で約634億円に上ります。

<熊本城復旧の基本的な考え方>

- ①復興のシンボルである天守閣早期旧を目指す。
- ②文化財的価値を損なわない丁寧復旧を進める。
- ③復旧過程の段階的公開を行い、観光資源として早期再生を図る。
- ④耐震化など安全対策に向けて最新技術も取り入れた復旧手法の検討を行う。
- ⑤“100年先の礎づくり”として未来復元整備に繋がる復旧を目指す。



2. 平成24年7月九州北部豪雨 白川河川激特災害対策特別事業 ……熊本市北区龍田陳内地先外

平成24年7月12日の梅雨前線の豪雨により、白川水系の流域面積の約8割を占める阿蘇カルデラ内を中心に短時間に記録的な大雨となりました。この豪雨により阿蘇カルデラ内を流れる白川水系黒川や熊本市街地を流れる白川では、河川の水位が観測史上最高の水位を記録し、洪水が発生し、流域全体で未曾有の被害が発生しました。

この災害に対して、白川水系白川及び黒川は河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）として平成24年11月に採択されました。

白川の激特事業においては、明午橋～みらい大橋間の、河道掘削、築堤・護岸、樋管、橋梁架替等を概ね5ヵ年で実施していくこととなり、

熊本市街地を流れる白川水系白川の県管理区間では、今回と同程度の洪水に対し、家屋の浸水被害を解消することを基本に、河道掘削、築堤等の河川改修を集中的に実施しています。



3. 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事

平成28年4月16日に発生した本震により、熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野地区において長さ約700m、幅約200m、崩壊土砂量約50万 m^3 に及ぶ大規模な斜面崩壊が発生しました。

この崩壊により阿蘇地域の生命線である道路・鉄道等の交通インフラが失われ、地域住民の生活・経済に深刻な打撃となり、早急な復旧が求められています。

崩壊斜面の頭部には多数の開口亀裂や切り立った滑落崖があり、余震や降雨による更なる崩壊の危険性がありました。

このため、無人化施工技術を駆使し、崩壊斜面下部における土留盛土の設置や、斜面頭部への分解組立式バックホウの空輸、高所法面掘削機（遠隔操作）による不安定土砂の除去を行った上で、平成29年1月より崩壊斜面下部での有人による施工と交通インフラの復旧に向けた調査が進められているところです。

更に、平成29年7月からは崩壊斜面上部よりネット工等による斜面の恒久的な安定化対策に着手しています。現在、斜面全面での有人作業による対策工事実施に向けて、工事は順調に進捗しています。（平成30年8月現在）

4. 阿蘇大橋架替工事

国道325号阿蘇大橋は、平成28年4月16日に発生した本震により大規模な斜面崩壊で通行不能となり、現在、国が熊本県からの要請を受け、道路法に基づく国の権限代行事業として、平成32年度の全線開通を目標に災害復旧事業を行っています。これまでに4回の技術検討会を開催し、崩壊前の阿蘇大橋から約600m下流の位置に橋長345mのP C 3径間連続ラーメン箱桁橋にて架け替え工事をおこなっております。新橋本体を含めた架替ルートは全体で約1km、「アプローチ区間」を含めた橋梁延長は525mとなっています。昨年度までに、阿蘇大橋本体内工の進入路となる斜面工事及び用地買収が完了しました。現在は、阿蘇大橋下部工工事のための仮設工事及び基礎工事を進めています。阿蘇大橋前後区間についても道路改良工事やアプローチ橋の下部工工事を実施しております。

また、阿蘇長陽大橋を含む南阿蘇村道橋の木立野線は、昨年8月27日に応急復旧により開通しています。これにより阿蘇大橋が完成するまでの代替ルートとして、阿蘇観光の玄関口としての経路を確保するとともに、併せて南阿蘇村の中心部と立野地区を結ぶ南北方向の通行を確保しています。（平成30年8月現在）

熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野地区



熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野地区



第649回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には熊本市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前 (前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成30年11月27日(火), 28日(水), 29日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ルートイン熊本駅前 熊本市西区春日1-14-19 TEL096-325-6511	シングル	40名	7,300円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

案内図



熊本市電花畑町駅より現場研修集合場所(桜の馬場 城彩苑バス乗降場)まで徒歩10分程度かかります。集合場所へは余裕を持ってお越し下さい。

第649回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時 : 平成30年11月28日(水) 17:30~19:00
(第649回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所 : ザ・ニューホテル熊本 3階「鳳凰の間」

会費 : 2,000円(講習会受付時に徴収)

- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
- ※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。
- ※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)全日本建設技術協会 会長 ・国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官 ・国土交通省水管理・国土保全局防災課大規模地震対策推進室 室長 ・国土交通省水管理・国土保全局治水課流域減災推進室 室長 ・国土交通省水管理・国土保全局防災課 防災企画官 | <ul style="list-style-type: none"> 大石 久和 林 雄一郎 講師 原田 昌直 講師 矢崎 剛吉 講師 波多野真樹 講師 |
|--|---|

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
 (特別・賛助会員名、会社名)

第649回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）申込書

<個人情報の取扱いについて>
 申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	会 員	正会員 30 歳未 満			予約日に○を 記入して下さい		
							11月 27日	28日	29日	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元及び地区連管内の市町村) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」 及び開催地区連合会管内の市町村(政令市除く)に勤務する「正会員」(賛助会員除く)						現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※		宿泊代金は、 ホテルチェックイン 時に全額お支払 いくください。 禁煙・喫煙の希望 がある場合には、 “○禁”、“○喫”の ように記入してくだ さい。		
現場研修料 名×7,200円＝ 円										
計						円				

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、割引価格(2,000円)で参加の場合、キャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。